

仙台市における被災公文書等修復支援事業の実施について

国立公文書館は、東日本大震災により被災した宮城県仙台市において、下記のとおり、被災公文書等修復支援事業を実施しました。

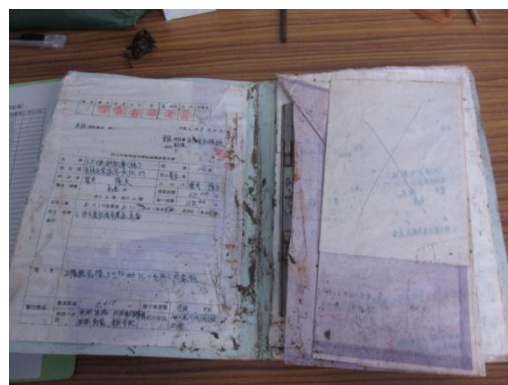
本事業は、仙台市からの要請に基づき、歴史公文書等に関する専門的技術的助言の一環として、被災した公文書等の修復に当たる人材の育成のための研修を行い、修復作業を早急に進める環境を整備することを目的とするものです。

記

1. 期 間 平成24年1月23日(月)～3月2日(金)(土、日、祝日を除く30日間)
2. 場 所 仙台市博物館(宮城県仙台市青葉区川内26)、
仙台市消防局若林消防署(仙台市若林区遠見塚2-25-20)
3. 館職員派遣数 11人(延べ56人日)
4. 修復研修生数 18名(仙台市及び近隣町在住者)
5. 作業結果 489冊(約30,000枚)
※主な資料：小学校文書、救急記録



【スキルトレーニングの様子】



【被災公文書等】



【作業風景①】



【作業風景②】